



巡礼その四十四 秀友会上海旅行

2009年10月

2003年、前執行部「秀友会」のタイ旅行後、毎年集まって食事会を行っていましたが、前執行部発足から10年目の節目に、また海外旅行を企画してほしいと頼まれました。2泊3日ということで、目的地も限られます。韓国、台湾、中国が候補に挙がりましたが、韓国、台湾は行った人がいるので、上海に決定しました。私の専門はインド・東南アジアですが、上海には家族旅行したことがあるので、旅行の組み立てはわかります。まず目的の1番は最高の上海蟹を食べること、2番は異国情緒を味わうことで決まりです。上海蟹の旬は10月で予約が取りにくいのですが、10月の連休10、11、12日に決めました。ホテルは伝統あるクラシックホテルと今一番新しいモダンなホテルに一泊ずつ泊まることにします。有名な「和平飯店」は改装中なので1929年に建てられた「上海錦江飯店」に決めます。こちらの方が格上です。もう一つのホテルはオープンしたばかりの「HYATT ON THE BUND」です。外灘（バンド）に建てられた高層のホテルで全室バンドビューです。観光は豫園、黄浦江ナイトクルーズ、郊外では一番近い水郷「朱家角古鎮」観光、モダンなフランス租界「新天地」、外骨董屋が集まっている東台路古玩街、世界最速のリニアなどを組み込みます。夫婦8組、家族1組、個人5人の23名で出発です。前回のタイ旅行は高病原性鳥インフルエンザA/H5N1の流行で大変な騒ぎでしたが、なんと今回も交流事業でカナダに行っていた高校生から、世界的に流行している、新型インフルエンザが見つかり、隔離されました。日本はパニックになり予防のマスクは在庫不足で手に入りません。日本では203人が亡くなりました。もちろん中国でも沢山の感染者、死者が出ました。そんなさなかの旅行です。前回同様キャンセル者は一人も出ませんでした。

10月10日

9:00 全員マスクをしたまま成田空港に集合です。ターミナルで全員マスクをして記念撮影しました。10:55 発、12:55 着2時間のフライトで機内食を食べたらもう上海です。まずはバスに乗りホテル「上海錦江飯店」にチェックインしてすぐに「豫園」へ出かけます。庭園を散策している間に旅行者の人が

「南翔饅頭店」に並び席取りです。豫園はいつも外国人と中国人で溢れかえっています。中国趣味たっぷりの庭園や建物を見学していると、席が取れたと連絡が入ります。「南翔饅頭店」は台湾のティンタイフォンと並んで世界2大小籠包の店です。いつも行列です。周りのお茶屋などのお店を見て外灘で中華の夕食です。その後黄浦江ナイトクルーズです。とても美しい夜景を見ながら川風に吹かれて最高です。ホテルに戻ります。「上海錦江飯店」はとても広い敷地にあり、中心地なのに敷地に入ると、とても静かです。重厚でいかにも迎賓館という建物で明日の朝食が楽しみです。

10月11日

さすがに高級ホテルの朝食は美味しい。8時半にバスに乗り1時間で「朱家角古鎮」に着きます。ここは水郷の街で36個の石橋がかかっています。家々は特徴的な屋根を持つとても雰囲気のある街です。まずは手漕ぎのチャーター船で回ります。水は決して綺麗とは言えませんが船で狭い水路の観光はワクワクします。その後石畳の北大街を散策しながらショッピングです。タイムスリップしそうな街です。上海に戻り、豫園にある世界の要人御用達の「緑波廊」で飲茶の昼食です。料理も美味しく、特に老酒が最高で、みんな昼からご機嫌です。午後は石庫門と呼ばれる古い建物が残る地域を再開発したモダンな「新天地」、骨董屋が集まっている東台路古玩街（特に私が喜ぶ）、一番新しい「田子坊」などでお買い物です。そして上海では外せない、上海雑技団の公演を観ます。全員目が点になっていました。夕食はこの旅行のメインイベント上海蟹です。お店はどこにするかこれが問題です。自分で調べたり、上海にいる友人に聞いたり、旅行社に聞いたりして、上海で最も古い歴史のある名店「王宝和酒家」に決定です。地元の人にも、観光客にも人気の店で、満員です。なんと廊下にテーブルを出して即席の席を作っていました。私たちは個室で上海蟹づくしです。前菜からスープから料理まで上海蟹です。そしてついに姿蒸しです。カニの大きな事、味の良い事、今までで最高です。全員大満足して今夜のホテル「HYATT ON THE BUND」へチェックインです。出来たばかりでとても綺麗でモダンです。部屋にはとても大きな窓があり外灘の夜景が素晴らしいホテルです。今日は最後の日なので最上階のバーでお別れ会です。

10月12日

朝食後、バスで空港行きのリニアモーターカーの駅まで行きます。最高速度431kmで世界一です。「龍陽路駅」と空港を30km8分で結びます。みんな大喜びで空港へ。免税店で最後の買い物をして16:00には成田です。お疲れ様でした。

